

部会紹介

松林地区まちぢから協議会の各部会の活動内容や新年度の抱負を紹介しています。新入部員も募集しています。お住まいの自治会へお問合せ下さい。

子ども部会

子ども部会の令和5年度に向けた抱負

神原部会長代理 私立子ども部会は、子ども・保護者・学校・地域の方々の繋がりを大切にした活動を行っています。中学生を対象とした居場所事業「ふくろう塾」と多世代交流が魅力の居場所事業「おむすび松林」は、市内でも注目を集めています。活動を通じて、子どもたちの成長を応援し、地域を元気にしたいと考えています。



福祉部会

いよ4月からはおむすびの提供を再開します。当面「かんがるのほっけ」の活動を続けたいと考えています。おむすび松林の多世代の居場所に戻していきたいと考えています。「ふくろう塾」はすでに食事提供を再開して、以前はスタッフのみで行っていた調理を中学生と一緒に進めています。みんなで作るカレーは絶品です。

福祉部会の令和5年度に向けた抱負

福祉部会 吉野部会長 松林地区に暮らす全ての人々が多様性を認め合い、ひとり一人の価値観の違いを尊重し、共に生きる地域社会を目指して、6年前に設立し活動してまいりました。もう一度あの人々の笑顔がみたいという思いで、イベントでの移動支援活動に取組み始めた時に、コロナ禍となつてしまいました。活動が再開出来ない中で部会として何かできないか模索し、昨年9月から福祉部会主催のサロンの開催を開始しました。感染対策を行いながら3回のサロンを無事に終えることができました。令和5年に従って、隔月でサロンを継続することを決定しました。部会の会員には、包括支援センターの職員などがメンバーとして参加しています。サロンの中では情報提供の役割や企画を担ってくれて参加者にアンケートを実施し、サロンの中でやってほしい活動を伺っています。そのアンケートの内容を共有しながら部会



自治会より

高田熊野神社社殿・神輿の修復事業

高田自治会上村会長 高田熊野神社では昨年より社殿及び神輿の修復事業を実施中です。社殿については昭和2年建設以来の年月で、何回かの修復は実施し、回廊床板の腐食、雨漏れ、正面外柱の



沈み込み等が発生しています。神輿については昭和52年の製作以来の経年劣化で各部位の痛みが激しく、必要となる状態です。修復に必要となる関係部署で、昨年3月より関係部署で相談の結果、修復事業を実施することとなり、5月に奉賛金（寄付金）を開始。22年9月より修復作業を開始し、23年6月作業完了を目指して現在修復作業中です。コロナ禍で3年ほど祭りが中止になっていましたが、今年4年ぶりの浜降祭が開催され、修復済みのピカピカの神輿で御祭りが行われる予定です。奉賛金に感謝を申し上げます。皆様のご迷惑をかけることをご容赦願います。

下赤羽自治会館の耐震工事ご報告 下赤羽自治会館は、耐震診断の結果、築40年を迎える自治会館は耐震基準に適合せず、地震や衝撃に耐えられないという厳しい結果になりました。この機に予算を鑑み、この機に老朽化した1階部分の補強工事を行うこととしました。

工事は内壁面を撤去し、腐食木材（一部シロアリ被害）を交換し防腐剤を塗布、接続部の金物補強と断熱材の設置後、壁面を構造用合板で塞ぐ面補強を施しました。その結果、1階部分は耐震評価が向上し、2階（応力集中しない）を得ることができました。また、入口をアルミ製扉に交換し、内壁クロスも新調した結果、装いも新たな自治会館のスタートとなり、休校中の長谷川夫妻他により、子どもも来塾も再開されました。地域の皆様のご活動にご利用くださいますようお願い申し上げます。ご協力感謝申し上げます。

松林地区市民集会

今年のテーマ:地域の絆

松林地区市民集会開催 1月28日土曜日、松林公民館で松林地区まちぢから協議会主催の松林地区市民集会が3年ぶりに開催されました。

行政側から佐藤市長や塩崎、岸両副市長、竹内教育長をはじめとして担当部局の幹部職員が出席し、地域住民と意見交換をし

まちぢから松林タイムス

令和5年 三月三十一日発行
茅ヶ崎松林地区
まちぢから協議会
広報部会

ました。今回の市民集会では、住民からの状況報告が1点と行政への要望事項2点が提起され、それに対する行政の見解が報告されました。

報告・意見交換

住民からの状況報告 「生活安全対策における自治会の役割」

松林小学校の通学路14カ所で見守り活動を行っています。見守り要員は延べ人数で毎週72名になります。主なメンバーは自治会役員や自治会有志、PTAなどであるが慢性的に人手不足の状況にあり、この点を課題ととらえています。

災害時の自助・共助に ついては、自治会が防災マニュアルを作成し住民に配布しています。防災マニュアルには、避難行動フローチャート

松林地区市民集会開催 1月28日土曜日、松林公民館で松林地区まちぢから協議会主催の松林地区市民集会が3年ぶりに開催されました。

行政側から佐藤市長や塩崎、岸両副市長、竹内教育長をはじめとして担当部局の幹部職員が出席し、地域住民と意見交換をし



自治会加入率の低下に対する施策の検討

自治会 大野会長 ニュータウン自治会においても高齢化が進んでいます。古い家を取り壊されて新しい家が建てられ、多く見受けられます。古い家を解体し土地を2分割し建築する場合があります。世帯数は増えるのですが自治会への加入率は積極的ではありません。直近では昨年（令和4年）7月に自治会入会キャンペーンを展開しましたが3件の入会しかありませんでした。今後、どのように自治会を維持し再興していくのが課題と考えています。

【自治会の役割について】 ニュータウン自治会では、自治会の役割について次のように考えています。

◆行事などを通じて会員のコミュニケーションを図り、会員相互の親睦を深めるとともに行政の情報提供を効率的に周知させる。◆行政の指導による防災対策を会員に周知

【行政と自治会の連携に関する要望】

行政と自治会の連携は非常に重要であると認識しています。しかし、前述の通り自治会を取り巻く環境は厳しく、加入率減少が切実な問題です。行政に対して「自治会加入促進に関する支援」を要望します。

【自治会加入率低下について】

担当課 市民自治推進課 本市の自治会加入率は、少子高齢化・核家族化の進行や生活様式の変化に伴い、統計開始時の昭和54年に98.17%に対して、令和4年には73.08%まで減少しております。

地域コミュニティの核である自治会の加入率低下に伴い、地域活動の担い手が不足し、従来あった自治会活動の継続が難しい状況にあることは、自治

会と密に連携を図ってきたい状況であることと認識しています。

令和3年度に自治会長を対象に実施したアンケートでは、会員の高齢化により、役員等の担い手不足や自治会脱退の申し出があることも加入率低下の大きな課題の一つであったことから、行政との間における各種補助金等の申請手続きを電子化するなど、事務の煩雑さや負担を軽減できるよう努めてきました。また、今後の自治会加入促進に向けて、市役所市民課へ来庁した市民を対象にアンケートを実施し、自治会活動に対する意識等を調査した結果、自治会は重要だと感じる一方でそれぞれのライフスタイルがあるため、自治会には加入していきたくはないという方が一定数存在したほか、自治会の活動が分からないという意見もありました。

これらのアンケート結果をふまえ、自治会加入促進チラシを作成し、市役

特集 市民集会

所市民課窓口にて転入手続きで来庁された方に配布しているほか、各自治会にも提供し、ご活用いただいております。



子ども会について

提起者：松林地区まちぢから協議会子ども部会 神原さん、中山さん

【子ども会の必要性】 子ども会は地域に組織された異年齢の集団です、年齢に関係なく集まって様々な活動をする事により、年下の子に優しく接するお兄さん、お姉さんを見て手本にする、など学校教育とはひと味違う学びも多いと思います。

子ども会は子ども達が主体的に活動を企画するのが基本です。自主的な態度、責任感を学ぶチャンスも多く、ボランティア活動の第一歩となります。



とは、子どもの人数減少、週末に習い事を行っている子が多い、保護者が役員をできないという理由で入会しない、仲の良い友達と地域が違うため同じ子ども会に入れない等の問題があります。

【子ども会について市への質問】 ①小学校区に一つの子どもの会だとわかり易く入り易いのではないかと、そうすることで地域と連携をとり、活動の補助や情報提供の周知を学区全体で行うことで保護者の負担減の対策も考えられる。

子ども会は子どもが主体の地域活動と捉えており、年齢の異なる子ども達と一緒に活動することで、互いに協力し、思いやることの大切さを学ぶ場であると考えています。

2023行事予定

市立小中学校始業式 4月6日(木) ◎場所：各小中学校

大岡越前祭 4月29日(土・祝) 30日(日) ◎場所：JR茅ヶ崎駅周辺や大岡家菩提寺の浄見寺周辺

浜降祭 7月(予定) ◎場所：茅ヶ崎西浜海岸

ちがさき花火大会 8月(予定) ◎場所 サザンビーチ

松林地区大運動会 10月(予定) ◎場所 室田小学校

松林地区防災訓練 10月(予定) ◎場所 未定

松林地区福祉バザー 11月(予定) ◎場所 松林公民館

松林地区まちぢから協議会

ふくろう塾 (居場所・学習支援事業) 日程は子ども部会ホームページ参照 ◎場所 松林公民館

かんがるのぼっけ (子育て事業) 日程は子ども部会ホームページ参照 ◎場所 高田1丁目民家など

★詳細は松林地区まちぢから協議会子ども部会のホームページをご覧ください



トピック松林～室田小学校校長談話

室田小学校 日々の風景 室田小学校長 作道亜貴子先生 室田小学校 校長の作道でございます。日頃より地域の方々には子どもたちの見守りを始め、ご支援、ご協力をいただき、本当にありがとうございます。



今年度もコロナ禍ではありましたが、運動会、授業参観等行うことができました。今後、さらに地域の方々にも子どもたちの活動の様子を見ていただけるよう取り組みたいと考えております。



防災訓練報告

令和4年度 地区防災訓練について報告 防災部会吉原部会長 11月23日(水)冷たい雨の降る休日、地区防災訓練を実施しました。



午後、松林中学校の防災施設見学と校庭に起震車、自然災害体験車、降雨体験車、濃霧避難体験、ペット防災ブースが設置され、自治会ごとに体験と見学が行われました。



した。安否確認世帯数6845世帯で、無事を確認できた世帯数は4502世帯でした。

ごみ有料化 1年経過

昨年4月よりごみ有料化がスタートしました。有料化後のごみ排出量を検証したところ、市民の理解と協力により、ごみの減量効果が着実に表れています。

ごみ排出量の減少が見える中、今後の課題は「ごみの出し方マナー」や「リバウンド」です。全国の各自治体のごみの有料化後にあがる懸念事項では、不適正な投棄、またリバウンドというものが目立ちます。

子ども未来塾の紹介

「地域で育てる地域の子ども」を合い言葉に、無償で学習支援を行う団体です。対象は小学生で学習支援を目的としています。



代表：長谷川秀喜